

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	タクシー（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症発生以前とほぼ同じ収益状況まで回復してきている。
	◎	遊園地（職員）	来客数の動き	・3月に入り、春休みや卒業旅行シーズンが本格到来したため、入園数が順調に伸びている。また、キャラクターショーやタイアップイベントの開催も集客につながったと考えている。
	◎	その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月は依頼が多くみられた。
	○	商店街（代表者）	お客様の様子	・当店は新学期を迎えて商材の動きが良くなっている。商店街をみても、正月より今の春先の方が動きが良い。
	○	スーパー（経営者）	来客数の動き	・前年比で売上17%増加、来客数は6%増加、前月に引き続き来客数が前年を上回っている。近隣住宅の新築工事をして職人の来店があるほか、数年前の常連客の数名が最近また来店するようになった。3月は消防署からの食材注文が増え、今後は1か月当たり6万円程度売上が増加する予定である。
	○	コンビニ（経営者）	単価の動き	・客は商材の値上げに慣れてきている。
	○	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型車効果もあって、新車の受注が増えている。
	○	自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・天候が暖かくなり、タイヤ交換の需要が増えてきている。ただし、ガソリン価格の高騰などから、全体的に支出を抑える傾向がみられる。
	○	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・異動時期であることや年度末、年度初めで会食が増えている。
	○	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・天候の影響もあり若干動きは出てきたが、燃料費高騰で出足が鈍る可能性は残る。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・定期的に需要が高く来客数が多い月で、天候も安定していたため、前年比でも顕著に増加している。法人利用は変わらず安定して推移し、個人利用も大幅に伸長している。
	○	タクシー運転手	販売量の動き	・天候が暖かくなってきたため、前月と比べると若干だが売上が伸びている。
	○	その他レジャー施設 〔ボウリング場〕（経営者）	来客数の動き	・春休みに入り、開店時間から夕方にかけて学生を中心に集客ができています。その一方で混雑を避けて来場を控える常連客も一定数いる。団体の利用も例年どおり予約が入っている。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・卒業、新生活と、商材の動きがあってもよい時期ではあるものの、動きは見られない。必要がないのか、新居に据え付けられてきているのか、今までのような新生活イコール家電購入の形には至らない。消費者のニーズも変わってきており、先を読むことは難しい。
	□	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・食品催事、宝飾時計、特選ブランド等が堅調で、売上をけん引し、店全体で前年実績を達成できている。県産品の通信販売も売上を伸ばしている。衣料品、リビング用品は売上を伸ばせない。この傾向はしばらく続く。
□	百貨店（店長）	お客様の様子	・客との会話から、原油価格高騰の影響等による社会情勢への不安がうかがえる。ただし、今の時期は目的買いによる需要も多いため、直ちに売上に影響するほどではない。	
□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・コンビニ業界では来客数は余り変わっていないため、販売量の動きも以前と変わらない。	
□	コンビニ（店長）	お客様の様子	・前月末から燃料代の値上げが続いている。多少影響は出ているものの、取扱商材が消え物のため、それほどでもない。以前と動きは変わっていないが、キャンペーン等を実施しても、期待したほどは伸びてこないため、やや厳しい状況が続いている。	

	□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・世界情勢に不安があり、原油も高騰しているため、変わらない。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備は目標を若干上回る結果である。車両販売、特に新車については客の希望する車種の幾つかがオーダーストップになっているため、なかなか契約に結び付かない。また、中東情勢の影響により、長期にわたり客の購買意欲が低迷しないか心配である。
	□	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・3月は歓送迎会のシーズンとなる。歓送迎会の宴席は、件数的に前年比で10%くらい多くなったものの、単価は前年よりやや下がっている。また、全般的に宴席はプラスであるが、レストランでの歓送迎会が皆無に等しく、景気が良くなっているのかどうかの判断がつきにくい。
	□	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・客の様子や来店人数は余り変わらない。
	□	通信会社（社員）	販売量の動き	・いまだ予断を許さない状況ではあるが、ここ数年、右肩下がりだったテレビサービスが下げ止まりの傾向にある。
	□	通信会社（社員）	販売量の動き	・以前よりは販売促進に経費を掛けているものの、それで現状維持が精一杯だからである。
	□	観光名所（職員）	お客様の様子	・原油価格の高騰による旅行業界への影響が懸念されるが、今のところ予約状況は堅調である。
	□	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きは前年と変わらない。
	▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・天候が暖かくなって外出する人が増えてくる時期だが、中東情勢によるガソリン価格高騰などもあり、観光客が少ない。
	▲	スーパー（経営者）	来客数の動き	・買上点数などから客の節約志向が見受けられる。米や野菜の価格も落ち着いてきたため、売上は伸び悩んでいる。
	▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・日々の来客数が減少傾向で週末は特に減少している。ガソリンの値上げから外出する人が減っているようで、例年なら天候が暖かくなれば売上も増えるが、前月より売上が減少している。
	▲	その他専門店〔酒〕（店長）	お客様の様子	・中東情勢が変化して1か月ほどになるが、日に日に状況が悪くなっている。消費者は以前から続く物価高こうした情勢に不安を抱いているのか、飲食店も厳しい。売上自体は前年より良いものの、マインドは非常に悪く、売上の良いものとそうでないものの偏りが顕著である。価格の上昇に伴って、客の様子も大変厳しくなってきたという印象を受けている。
	▲	スナック（経営者）	来客数の動き	・送別会シーズンだが、余り予約がない。フリーの客も少なく、ランチタイムの客まで減っている。
	▲	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・香港と中国からの客が少し動き出している。また、その他の地域からのインバウンドも前年よりも増加し始めている。首都圏客の動きが前年よりも減っているが、関西や中京圏からの客の動きは良い。
	▲	ゴルフ場（副支配人）	来客数の動き	・ガソリン価格高騰の報道の影響なのか、4月以降の予約が急激に落ち込んでいる。特に、増収が余り見込めない平日来場の高齢者の予約が良くない。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・市の中心部にあるアーケード街では、日中でも人影のない時間がほとんどである。催事をしても盛り上がりせず、将来性が全くない。
	×	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・物価高の影響により悪くなっている。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・特注品の受注対応で多忙である。
	□	食料品製造業（営業統括）	受注価格や販売価格の動き	・原油価格の高騰により、資材や原材料価格の改定要請が予想されるため、今後の経営が心配である。
	□	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・地金の高騰で商材単価が上がったことにより、販売量は減少し、利益率は低下している。前年並みの売上は確保できているものの、状況は改善していない。

	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・工事の受注量が増えており、それに伴い工事単価も少しずつ増加してきている。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・世界情勢の不安等から物価が上昇しており、小売店も値上げ前の需要喚起のチラシ出稿があり、小売、スーパーを中心に折込出稿は前年比で微増となっている。
	▲	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業の受注環境は2極化しており、全体では原材料価格の上昇に伴う販売価格転嫁の遅れが収益を圧迫している。非製造業は観光関連は底堅いものの、中東情勢の不安定化に伴い、消費マインドに弱さがみられる。
	▲	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・日中関係や中東情勢の影響から、観光客が減少し、物価は上昇して、やや悪くなっている。
	×	食料品製造業（製造担当）	取引先の様子	・商材を値上げしたが、大手は価格を上げてこなかったために差が開き、当社商材の取扱量が減っている。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は昨年並みであるものの、受注が減っており、生産予定のものも見合せとなっている。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	職業安定所（職員）	それ以外	・中東情勢の緊張感が増しており、原材料や光熱費の高止まりが危惧される。一方、経済対策の迅速さなどが奏功し、直ちに足下の景況感が悪化する状況ではない。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・月間有効求人数の動きを前年同月比で見ると僅かに減少しているが、大きな変化はみられない。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・原油不安や物価高が企業マインドを押し下げている状況は変わらない。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・中東情勢の影響から、やや悪くなっている。
	▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	・当所管内の令和8年2月の有効求人倍率は1.33倍となり、前年同月比で0.04ポイントの低下となっている。月間有効求人倍率が前年同月を下回るのは22か月連続となっている。
	×	—	—	—